

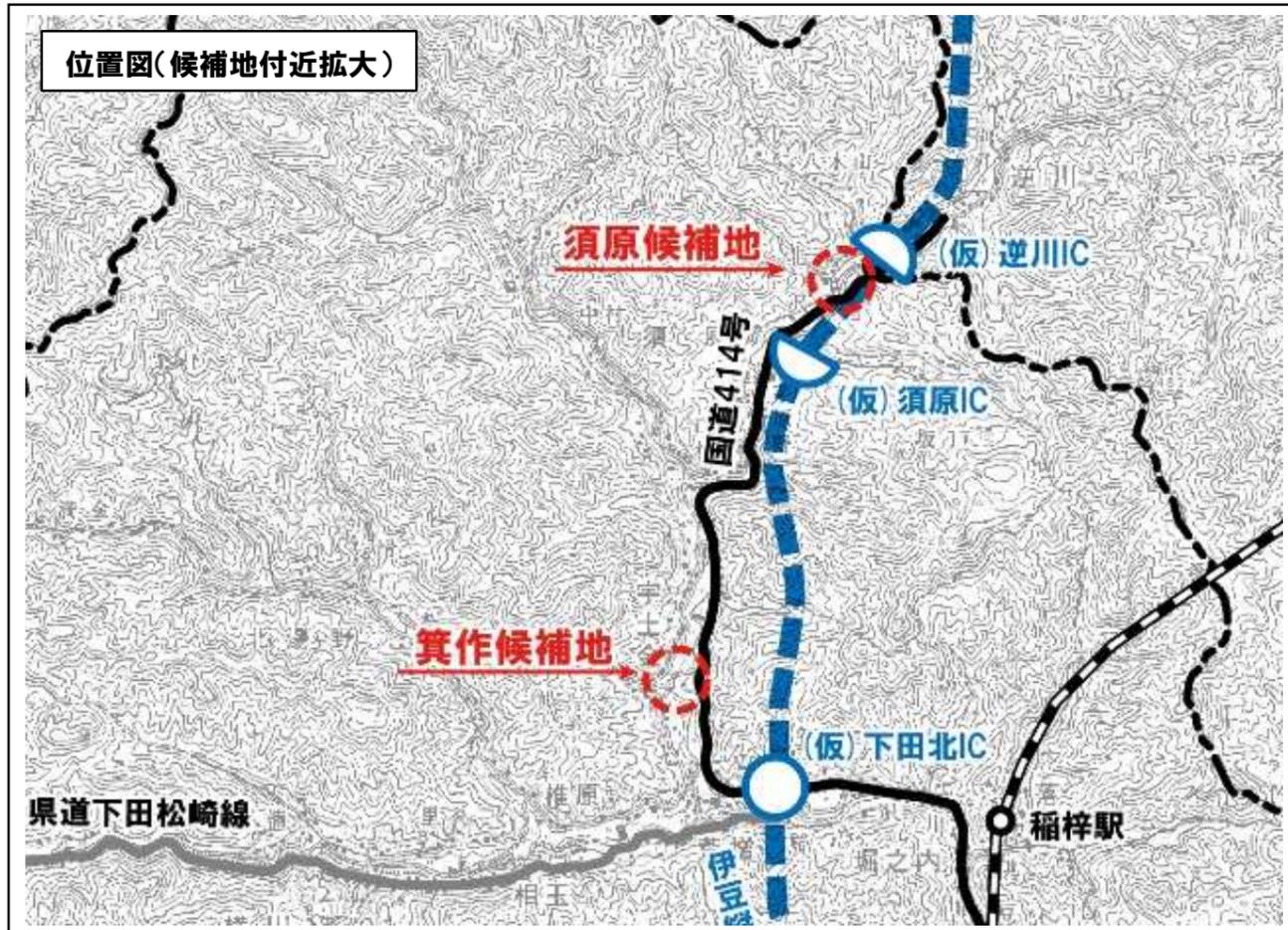
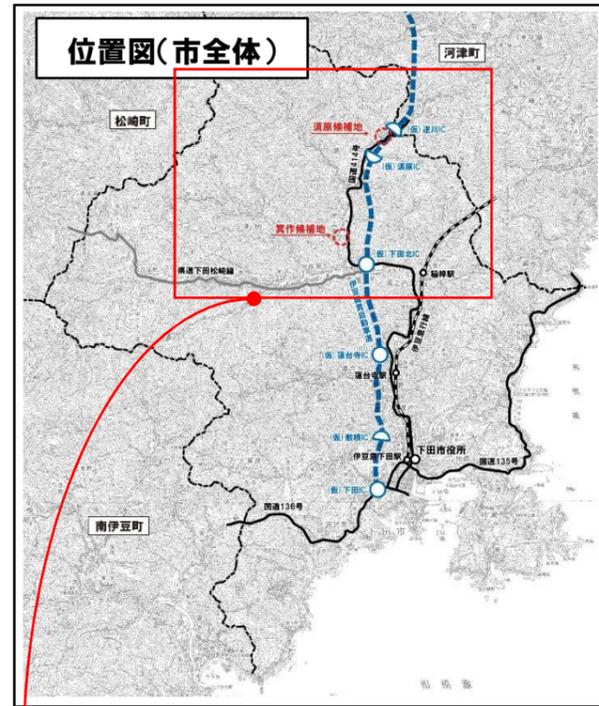
下田市建設発生土検討 候補地(須原地区、箕作地区)の概況

■候補地の位置

- 須原候補地、箕作候補地は、市の北部、国道414号沿いに位置している。市の市街地へは車で15～20分程度で行くことができます。
- 候補地に近接して、伊豆縦貫自動車道（河津下田道路）の（仮称）逆川IC、（仮称）須原IC、（仮称）下田北ICが整備される計画となっています。

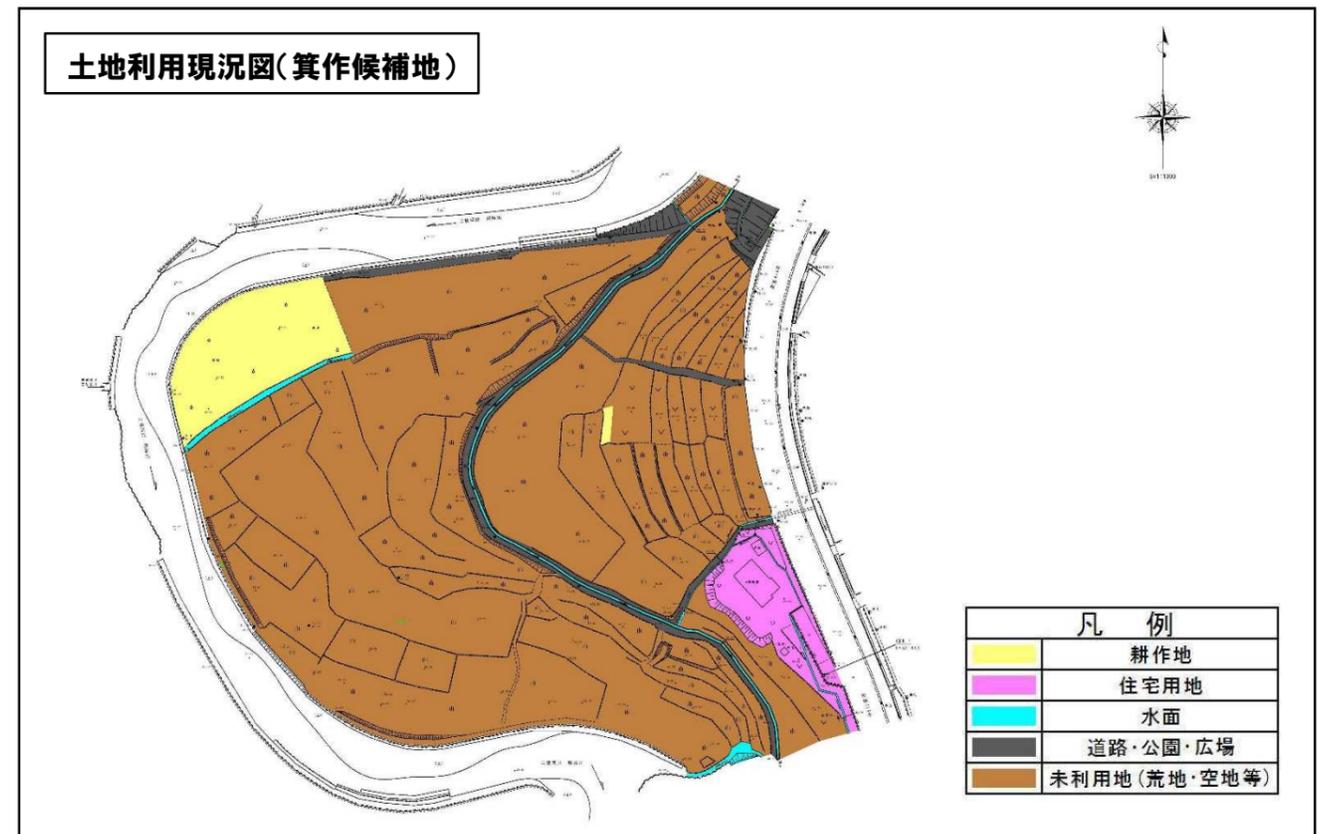
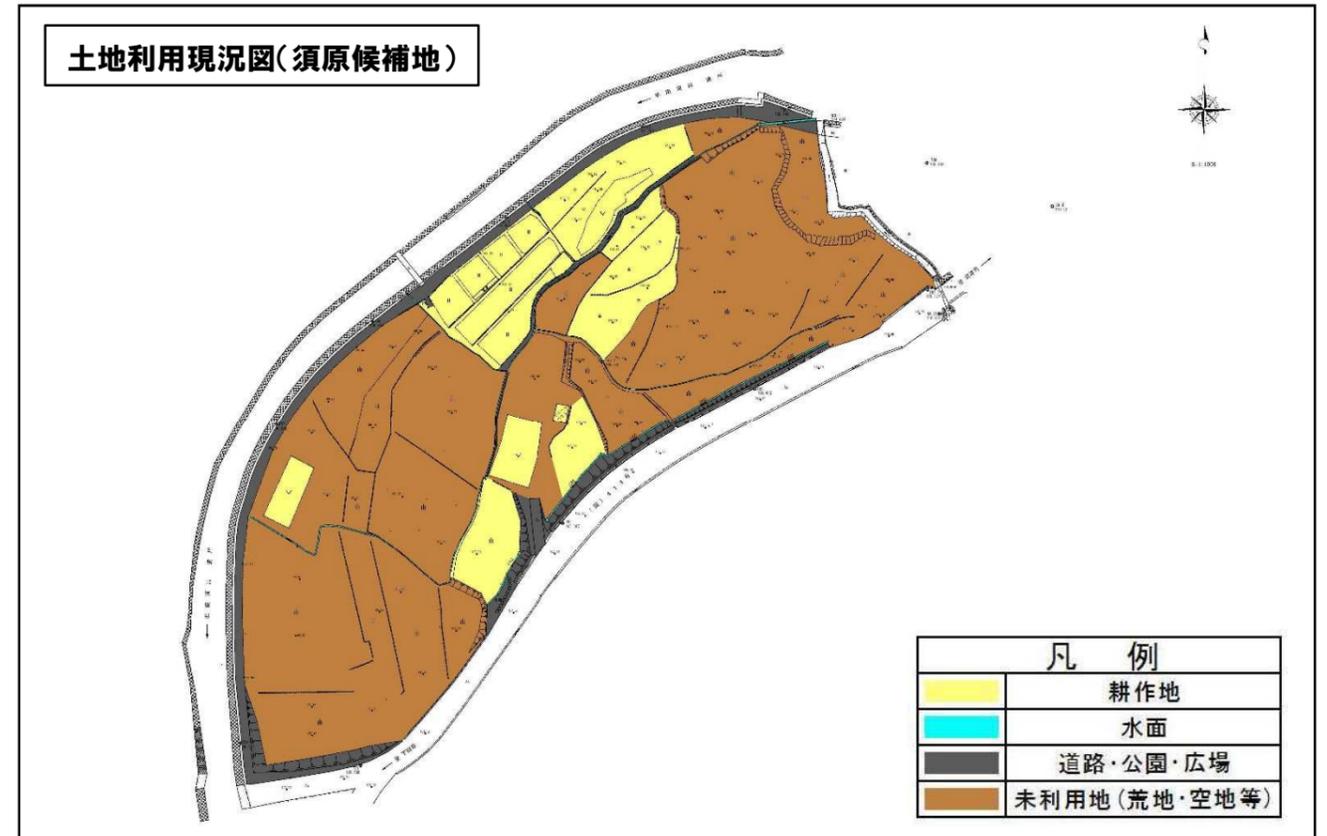
■人口・産業

- 市全体と同様に、須原地区、箕作地区ともに人口減少が続いています。
- 須原地区は平成10年(571人)から平成28年(385人)、箕作地区は平成10年(543人)から平成28年(445人)となっています。
- 産業としては、商工業の事業所は少なく、地区としては農業が主要な産業となっています。販売農家数の推移をみると、専業農家、第1種兼業農家、第2種兼業農家ともに減少しています。



■土地利用の状況

- 両候補地ともに、一部農地として利用されているものの、大部分が未利用地（荒地・空地等）となっています。
- 箕作候補地に隣接して住宅が1軒建っています。



■法適用の状況

《都市計画関連》

○両候補地ともに都市計画区域外に位置しており、1haを越える大規模な開発行為に対しては許可が必要となります。

《農林業関連》

○両候補地ともに農業振興地域内に位置しています。候補地内の多くの農地が農用地区域（青地農地：原則農地転用が許可されない）に指定されています。

○両候補地内には森林はないものの、周辺は森林に囲まれています。

《災害対策関連》

○砂防三法（砂防法、地すべり等防止法、急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律）に基づく指定区域の状況を見ると、「地すべり防止区域」が須原候補地に近接して指定されています。

○「土砂災害防止法」に基づく指定区域の状況を見ると、箕作候補地が「土砂災害警戒区域（土石流）」となっています。また、両候補地に近接して「土砂災害警戒区域（土石流）」、「土砂災害警戒区域（急傾斜地の崩壊）」が指定されています。



■道路・河川の状況

○両候補地ともに国道414号に接しています。平成27年度道路交通センサスによると、平日24時間の自動車交通量は4,419台となっています。

○伊豆縦貫自動車道（河津下田道路）Ⅱ期（先行事業区間：約6.8km）の整備が進められており、候補地に隣接して（仮称）逆川IC、（仮称）須原IC、（仮称）下田北ICが整備されます。（下田北はフルIC、逆川及び須原はハーフIC）

○須原候補地は、稲生沢水系の準用河川逆川左岸に接しています。箕作候補地は、稲生沢水系の二級河川稲梓川左岸に接しています。



▲国道414号(須原候補地付近)



▲国道414号(箕作候補地付近)



■防災

○国道414号が第1次緊急避難路、稲梓小学校が広域避難地となっています。

○そのほか、稲梓地区として落合区民会館、稲梓中学校、基幹集落センター、須原区民会館、八木山集会場、相玉公会堂などが指定避難所（広域避難場所）となっています。

○土砂災害・洪水ハザードマップによると、両候補地とも河川による浸水被害は想定されていません。

■避難地一覧

広域避難地	稲梓小学校
指定避難場所 (広域避難場所)	稲梓小学校、落合区民会館、稲梓中学校、基幹集落センター、須原区民会館、あずさ山の家、八木山集会場、諏訪神社、相玉公会堂、北湯ヶ野公民館、加増野ポーレポーレ

資料：下田市地域防災計画

■上位計画・各種計画の整理（須原地区、箕作地区の位置づけ）

《第4次下田市総合計画：平成23年3月策定》

○第4次下田市総合計画では、候補地を含む須原地区、箕作地区は、水源涵養や保水能力の保全に努める『水源エリア』に位置づけられています。

○また、伊豆縦貫自動車道IC周辺地域については、地域の特性を踏まえ、既存の住環境との調和に配慮した土地利用を図る『高規格幹線道路周辺エリア』にも位置づけられています。

《下田市都市計画マスタープラン：平成28年3月策定》

○（仮称）下田北IC周辺、（仮称）須原IC周辺は、「保全活用エリア」に位置づけられています。交通立地の優位性を活かし、災害時にも連携できる企業や、地域の資源を活用してくれる企業の誘致、災害時にも活用できる広場の確保を行う「防災と地域発展のための区域」となっています。

○（仮称）下田北IC周辺、（仮称）須原IC周辺の取組施策として、伊豆縦貫自動車道建設発生土の利用検討（盛土、埋立の検討）、災害時にも利用できる多目的な広場（広域公園等）の整備などが位置づけられています。

○（仮称）下田北ICから（仮称）須原IC一体が防災拠点に位置づけられています。災害発生時に広域的な支援活動に対応できるよう、伊豆縦貫自動車道の整備に伴い発生する建設発生土を活用した造成を検討しつつ、IC付近に防災活動の拠点となる場所を災害の態様に応じて適切に対処できるように複数確保することになっています。

《下田市稲梓地区里山づくり基本構想：平成28年2月策定》

○里山づくりの取組計画の一つとして、須原候補地に「駐車場、トイレ、休憩所の整備」が位置づけられています。

